

医学史

科目到達目標: 医学の歴史を通じて医学・医療の考え方の全体像(体系)を学ぶ。

科目責任者(所属教室): 久留 一郎(再生医療学)

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	6/28(水)	1	111	古代から現代に至る薬の発達と、薬効評価法、薬物治療の倫理面などの歴史の変遷を述べる。	長谷川 純一	薬物治療学	薬の発達の歴史を理解し、非科学的薬効表現の批判的吟味ができる。薬物治療の倫理や制度を理解する。	古代文明、万能薬、薬局方、売薬無効論、OTC薬、薬効評価、医薬品分類。
2	7/11(火)	1	111	心臓外科学の発展を一例として外科学発展の歴史を理解する。	西村 元延	器官再生外科学	心臓外科学の発展をとおして、様々な問題の解決のためにどのような取り組みがなされてきたかを理解する。	開心術、人工心肺装置、心筋保護法、人工心臓、人工臓器
4	7/3(月)	1	111	脳の機能の解析と病気の研究の背景にある脳神経系の研究の進歩を理解する。	兼子 幸一	精神行動医学	脳の構造機能連関の歴史的進歩を知ること、現代脳科学の発展とその最前線を大局的に理解できる。	脳解剖、失語症、大脳の機能的マップ、脳機能に関する局在論とネットワーク論
3	7/4(火)	1	111	時系列で体液・固体病理説を考えながら解剖学・生理学・病理学の順に発展してゆく様を理解する。	久留 一郎	再生医療学	体液・固体病理説の概念を理解するしヒポクラテスの誓いを学ぶ。解剖学と生理学と病理学の発展を理解する。	ヒポクラテス、カウエサリウス、ハーウィー、パラケルスス、サントリオ、モルガーニー、ブールハーフェ
5	7/6(木)	1	111	時系列で医学が実験医学と結びつき生理学や生化学、細胞病理学へと進歩する経過を理解する。	久留 一郎	再生医療学	生命現象を生命固有の現象とする考え方が生理学生生化学へと発展したことを知る。	ピネル、ビシャ、フック、マルピギ、ミューラー、ウイルヒョウ、ハラール、ベルナール
6	7/10(月)	1	111	公衆衛生の歴史について概説する。	黒沢 洋一	健康政策医学	人類の共同生活の組織的な努力を通じて疾病を予防してきた歴史(検疫、産業保健、社会制度)を理解する。	検疫、ラマッチイーニ、チャドウック、公衆衛生法、コッホ、ヘッテンコフアー、病気の三要因、
7	7/13(木)	1	111	時系列で感染症の克服を通して細菌病理学や細胞病理学が進歩することを概説する。	久留 一郎	再生医療学	感染症が細菌病理学で説明される過程を知る。抗生物質などの治療法の発見の過程を理解する。	ヘンレ、パスツール、コッホ、ゼンメルワイス、リスター、エーリッヒ、フLEMING
8	7/18(火)	1	111	まとめ/試験	久留 一郎	再生医療学	学んだ知識を総括し、医学を学ぶ上での医学史の重要性を認識する。	

教育グランドデザインとの関連: 1,7

学位授与の方針との関連: 1,4

評価: 試験

レポート なし

参考書: 医学の歴史 梶田 昭(著) 講談社学術文庫